

# 年頭のご挨拶 2012

明けましておめでとつございます。皆さまには、つつがなく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年、東日本を襲った未曾有の大地震により、今なおふるさとに戻ることができず、避難先で新年を迎えられた皆さまに對しましては、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早く心の安寧を取り戻されることを心からお祈り申し上げます。

さて、みよし市では震災後、皆さまの温かいご協力をいただき、多くの義援金や支援物資を被災地へ届けさせていただきました。また、多くの市民の皆さまに被災地で復興支援ボランティア活動をしていただいたことに、あらためて感謝を申し上げます。

昨年は、長野県木曾町との友好提携と災害時における相互応援協定を、同じく友好都市である北海道士別市とも災害時における相互応援協定をそれぞれ締結しました。また、市内の東海学園大学の学生で組織する機能別消防団「ちいむともいき」、防犯ボランティア団体「TOPS」の結成、大規模地震に耐える新庁舎の建設など、安全・安心、そして協働によるまちづくりへとまい進した一年となりました。

本年も引き続き、皆さまとの「信頼と協働」をキーワードに「みんなで築くよきまちづくり」と「活力の都市」を目指す将来像として、皆さまとお約束した「マニフェスト」に掲げる65項目の実現に向け、福祉施設や少子高齢化対策、環境対策など、市民生活に関わりの深い事業につきまして、重点的に取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、今年一年が皆さまにとって実り多き年となりますよう祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

みよし市長

大野知英







新年明けましておめでとうございます。皆さまには、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また昨年中は、みよし市議会に対して温かいご理解を賜り、誠にありがとうございました。議会を代表して心から感謝を申し上げます。そして、東日本震災で被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。

市制施行して2年が経過しようとしておりますが、新庁舎完成の年を迎え、その出来上がっていく姿が見えてきますといよいよカウントダウンに入ったと実感されます。「市にふさわしい庁舎として、災害時の防災拠点となり、また、住民サービスのますますの向上につながるものと期待しています。

最近の日本経済を見ますと、リーマンショック以降、持ち直しつつありました景気も、東日本震災やタイ王国の洪水被害の影響もあり、依然として今後の動向には、不透明感が漂っています。

本市におきましても、折からの不況の影響を受け、税収の落ち込みなど非常に厳しい財政運営を強いられ、更なる緊縮体制で臨む必要があります。そうした反面、子育て支援の充実や防犯・防災対策の充実を進めるとともに、市民の皆さまから要望の多い、図書館を含む複合施設建設など、多くの行政課題に取り組みねばなりません。

私たち議会は、厳しい状況下であることを肝に銘じ、市民目線で市政を厳しく監視し、市民本位のまちづくりが推し進められるよう気持ち新たに、市民の皆さまの負託にこたえていくために全力を尽くしてまいります。

平成24年が皆さまにとって素晴らしい年となることにも、心算と「みよし」の限らない発展を祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。

みよし市議会議長

伊藤邦洋